

アートで佐渡を再生する、地域おこし協力隊募集！



2024年、地域のお寺の本堂を会場に行われたシンポジウムの様子



佐渡の表玄関である両津港周辺はシャッター街になっている



空き店舗を改装した、交流拠点・現代アートギャラリー「Taachi」の展示風景



2025年、民俗学の視点で両津を巡ったまち歩きの様子



フランスから来島したインターン生の能体験の様子



地域住民と参加した大学生達が笑顔で話し合っている様子

ミッション名： アートで佐渡の玄関口を再活性化するプロジェクト

着任地域： 佐渡市両津地区（夷・湊エリア、一般社団法人佐渡国際芸術推進機構）

着任地域紹介（団体紹介）

佐渡の表玄関である両津港周辺は人口減少と高齢化が深刻化し、商業の衰退が進んでいます。私たちは、この状況をただ見過ごすのではなく、アートを軸とした新しいアプローチで解決に挑みます。国内外のアーティストや地域の人々と連携し、空き店舗を活用した制作拠点やギャラリーを整備。文化と経済の両面から、持続可能な地域づくりを目指します。



（世話人）吉田盛之（写真：左）と武田泉（写真：右）、佐藤春雄（両津の未来を考える会）、中川昌司（北会、両津湊商店街）、渡邊正俊（両津商工会）が3年間お世話します。

佐渡の玄関口、両津港町をアートの力で再生するプロジェクトに参加しませんか？

○解決したい課題、事業ミッション

佐渡の玄関口である両津港周辺（夷・湊エリア）は、かつては賑わいを見せていましたが、今では高齢化とシャッター街化が進み、活気が失われつつあります。しかし、私たちはこの場所に、アートとクリエイティブの力で新しい風を吹き込み、誰もがワクワクするような未来を創り出そうとしています。

この挑戦を「自分ごと」として捉え、地域の人々と共に汗を流し、新しい価値を生み出すことに喜びを感じる仲間を募集します。あなたのアイデアと行動力で、佐渡の新しい歴史を一緒に創りませんか？

【具体的な活動内容】

以下の活動を通じて、両津港町の再生に貢献していただきます。

- ・空き家・空き店舗の活用：アーティストの制作拠点や住居として、地域拠点づくりに活用するための企画・運営
- ・情報発信：SNSや動画を活用した、地域の魅力や活動の企画・制作・発信
- ・交流イベントの企画：芸術祭等アートイベントや文化体験プログラムを通じて、地域住民と観光客、国内外の人々をつなぐ交流機会の創出
- ・地域活動のサポート：既存のイベント運営や、地域事業者との連携サポート

○3年後の目指す姿（当該地域・協力隊員）

空き家・空き店舗を活用したビジネスや文化活動で賑わいを取り戻し、国内外からの交流人口が増加し、「佐渡の表玄関」としての活気が回復している状態を目標とします。協力隊員は、任期中、（一社）佐渡国際芸術推進機構の運営に深く関わり、任期後も地域活動や運営に継続的に携わることを期待します。自身のスキルを活かした独立・起業を希望する場合は、開業支援等も積極的に行い、応援します！

○協力隊に求めるスキル（人物像）

- ・地域の課題を「自分ごと」として捉え、アートやクリエイティブを活用し、地域に新しい価値を創出し、地域住民と共に汗をかいて「手応え」を感じることに喜びを見出せる人。
- ・パソコンの基本的な操作（Word, Excel, インターネット）ができる方
- ・SNSや動画など、デジタルツールでの情報発信が得意な方
- ・活動に必要な語学力（英語など）を有している人（インバウンド対応や国際交流に意欲がある方歓迎）。
- ・空き家の活用や文化観光、食文化に関するプログラム、クリエイティブに関するコンサル業務に興味のある方

少しでも興味を持った方は、ぜひ一度お気軽にご連絡ください

○参考サイト

<https://sia-promotion.org/>

<https://sado-art.com/>